

家庭用セントラルヒーティング契約選択約款

東日本ガス株式会社

平成24年 10月 1日実施

1. 目的

この選択約款は、家庭用セントラルヒーティングの普及を通じ、当社の供給設備の効率的利用及び効率的な事業運営に資することを目的といたします。

2. 選択約款の届出及び変更

- (1) この選択約款は、ガス事業法第 17 条第 7 項の規定に基づき、関東経済産業局長に届け出たものです。
- (2) 当社は、関東経済産業局長に届け出てこの選択約款を変更することがあります。この場合、当社は届出内容をあらかじめお客さまに通知の上、お客さまとの需給契約の内容を、変更後の選択約款によるものとします。
- (3) 当社は、一般ガス供給約款を変更した場合には、変更内容をあらかじめお客さまに通知の上、この選択約款を変更することがあります。

3. 用語の定義

- (1) 「家庭用セントラルヒーティングシステム」…エネルギー源としてガスを使用し、放熱器を接続する機能を有する熱源機により、居室に設置した放熱器に温水を供給して暖房を行うシステムをいいます。
- (2) 「居室」…居住の目的のために継続的に使用する室をいいます。
- (3) 「専用住宅」…居住の目的だけに建てられた住宅で、店舗・作業場・事務所など業務に使用するために設備された部分がない住宅をいいます。
- (4) 「消費税等相当額」…消費税法の規定により課される消費税及び地方税法の規定により課される地方消費税に相当する金額をいいます。この場合、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。
- (5) 「消費税率」…消費税等相当額の、消費税法の規定により課される消費税の課税標準に対する割合をいいます。なお、この選択約款においては5パーセントといたします。
- (6) 「単位料金」…8に定める基準単位料金又は調整単位料金をいいます。
- (7) 「我孫子地区」とは、一般ガス供給約款の別表第 1. 供給区域のうち、1. の区域をいいます。
- (8) 「取手地区」とは、一般ガス供給約款の別表第 1. 供給区域のうち、2. の区域をいいます。

4. 適用条件

家庭用セントラルヒーティングシステムを専用住宅で使用する需要で、お客さまがこの選択約款の適用を希望される場合に適用いたします。

5. 契約の締結

- (1) この選択約款に関する契約は、お客さまが、この選択約款を承諾のうえ、当社に使用を申し込んでいただき、当社が申し込みを承諾したときに成立いたします。
- (2) 契約期間は次のとおりといたします。
 - ① 新たにガスの使用を開始した場合は、料金の適用開始の日から同日が属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日までといたします。
 - ② 契約種別を変更した場合は、変更後の契約の契約期間は、契約種別の変更の日の翌日からその変

更の日の属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日までといたします。

③ 契約期間満了時において当社とお客さまの双方が契約内容について異議のない場合には、契約は、契約期間満了日の翌日からその満了日の属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日まで同一条件で継続するものとし、以降も同様といたします。

(3) 当社は、本契約の契約期間満了前に解約又は一般ガス供給約款に定める料金への変更をしたお客さまが、再度同一需要場所で本契約の申し込みをする場合、その適用開始の希望日が過去の契約の解約の日、又は契約種別の変更の日から1年に満たない場合には、その申し込みを承諾しないことがあります。ただし、設備の変更又は建物の改築等のための一時不使用による解約又は契約種別の変更の場合はこの限りではありません（(4)において同じ）。

(4) 当社は、本契約の契約期間満了前に他の選択約款（一般ガス供給約款に定める料金を除きます。）への変更を申し込みされた場合には、その申し込みを承諾しないことがあります。

6. 使用量の算定

各月使用分の使用量は、前月の検針日及び当該月の検針日におけるガスメーターの読みにより算定いたします。

ただし、当該月の検針日以降、当該月内に解約を行った場合には、当該月の検針日及び解約を行った日のガスメーターの読みにより算定いたします。

7. 料 金

(1) 当社は、料金の支払いが、支払義務発生の日の翌日から起算して20日以内（以下「早收料金適用期間」といいます。）に行われる場合には、早收料金を、早收料金適用期間経過後に支払いが行われる場合には、早收料金を3パーセント割り増ししたもの（以下「遅收料金」といいます。）を料金としてお支払いいただきます。なお、早收料金適用期間の最終日が休日の場合には、直後の休日でない日まで早收料金適用期間を延長いたします。

(2) 当社は、12月分（11月検針日の翌日から12月検針日まで）から4月使用分（3月検針日の翌日から4月検針日まで）までの期間については、別表2.の料金表を適用して、早收料金又は遅收料金を算定し、5月使用分（4月検針日の翌日から5月検針日まで）から11月使用分（10月検針日の翌日から11月検針日まで）までの期間については、一般ガス供給約款に定める料金表を適用して、早收料金又は遅收料金を算定いたします。

8. 単位料金の調整

[我孫子地区、取手地区]

(1) 当社は、毎月、(2)②により算定した平均原料価格が(2)①に定める基準平均原料価格をこえて上回り又は下回る場合は、次の算式により別表の各料金表の各基準単位料金に対応する調整単位料金を算定いたします。この場合、基準単位料金に替えてその調整単位料金を適用して早收料金を算定いたします。

なお、調整単位料金の適用基準は、別表1(3)のとおりといたします。

① 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金（1立方メートル当り）

$$= \text{基準単位料金} + 0.080 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$

② 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金（1立方メートル当り）

$$= \text{基準単位料金} - 0.080 \text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率})$$

(備 考)

上記①、②の算式によって求められた計算結果の小数点第3位以下の端数は、切り捨て。

(2) (1)に規定する基準平均原料価格、平均原料価格及び原料価格変動額は、以下のとおりいたします。

① 基準平均原料価格 (トン当り)

71,480円

② 平均原料価格 (トン当り)

別表1(3)に定められた各3ヶ月間における貿易統計の数量及び価格から算定したトン当りLNG平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。)及びトン当りLPG平均価格(算定結果の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。)をもとに次の式で算定し、算定結果の10円未満の端数を四捨五入した金額とします。ただし、その金額が114,370円以上となった場合は、114,370円といたします。

(算 式)

平均原料価格 = トン当りLNG平均価格 × 0.9604 + トン当りLPG平均価格 × 0.0393

(備 考)

トン当りLNG平均価格及びトン当りLPG平均価格は、当社の営業所及び支社に掲示いたします。

③ 原料価格変動額

次の算式で算定し、算定結果の100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額といたします。

(算 式)

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

原料価格変動額 = 基準平均原料価格 - 平均原料価格

9. その他

(1) その他の事項については、一般ガス供給約款を適用いたします。

付 則

1. 実施の期日

この選択約款は平成24年10月1日から実施いたします。

2. 本約款の実施に伴う切り替え措置

- (1) 当社は、平成24年9月30日までガス選択約款(家庭用セントラルヒーティング契約)(以下「旧選択約款」という)の適用があり、平成24年10月1日以降本契約においても引き続き同一の契約種別の適応があるお客様について、平成24年9月30日が含まれる料金算定の早収料金は、次の算式により算定いたします。

(算式)

早収料金 = 旧選択約款適用期間の早収料金 + 本選択約款適用期間の早収料金

旧選択約款適用期間の早収料金 (小数点以下の端数切り捨て)

= 旧選択約款の基本料金 × D1 / D + 旧選択約款の調整単位料金 × V1

本選択約款適用期間の早収料金 (小数点以下の端数切り捨て)

= 本選択約款の基本料金 × D2 / D + 本選択約款の調整単位料金 × V2

(備考)

D = 料金算定期間の日数

D1 = Dのうち平成24年9月30日までの期間に属する日数

D2 = Dのうち平成24年10月1日以降の期間に属する日数

V = 料金算定期間の使用量

V1 = 旧選択約款適用期間の使用量

= V × D1 / D (1立方メートル未満の端数切り捨て)

V2 = 本選択約款適用期間の使用量

= V - V1

- (2) 適用料金は、旧選択約款の料金、本供給約款の料金とも、いずれに該当するかは、以下により判定いたします。

- ① 旧選択約款適用期間については、次の算式により算定した1か月換算使用量により判定します。

(算式)

1か月換算使用量 = V1 × D / D1

- ② 本選択約款適用期間については、次の算式により算定した1か月換算使用量により判定します。

(算式)

1か月換算使用量 = V2 × D / D2

- (3) 当社は、平成24年9月30日まで平成21年6月1日実施の選択約款に基づき契約を締結されていた方で、平成24年10月1日以降この選択約款が適用される方については、本選択約款においてもその契約期間を適用いたします。

(別 表)

[我孫子地区、取手地区]

1. 早収料金の算定方法

- (1) 早収料金は、基本料金と従量料金の合計といたします。
- (2) 従量料金は、基準単位料金又は8の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします
- (3) 調整単位料金の適用基準は次のとおりといたします。
 - ① 料金算定期間の末日が1月1日から1月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年8月から10月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ② 料金算定期間の末日が2月1日から2月28日(うるう年は、2月29日)に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年9月から11月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ③ 料金算定期間の末日が3月1日から3月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年10月から12月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ④ 料金算定期間の末日が4月1日から4月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年11月から当年1月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑤ 料金算定期間の末日が5月1日から5月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年12月から当年2月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑥ 料金算定期間の末日が6月1日から6月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年1月から3月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑦ 料金算定期間の末日が7月1日から7月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年2月から4月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑧ 料金算定期間の末日が8月1日から8月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年3月から5月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑨ 料金算定期間の末日が9月1日から9月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年4月から6月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑩ 料金算定期間の末日が10月1日から10月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年5月から7月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑪ 料金算定期間の末日が11月1日から11月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年6月から8月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑫ 料金算定期間の末日が12月1日から12月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年7月から9月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

2. 料金表

(1) 基本料金

1 か月及びガスメーター 1 個につき	2, 9 4 0 円 (消費税等相当額を含みます。)
---------------------	-------------------------------

(2) 基準単位料金

1 立方メートルにつき	1 1 4 . 8 5 円 (消費税等相当額を含みます。)
-------------	----------------------------------

(3) 調整単位料金

(2)の各基準単位料金をもとに、8の規定により算定した1立方メートル当りの単位料金といたします。